

働き方を変える パーソナルデバイス選択

日経BPIイノベーションICT研究所
日経BPIパーソナルデバイス

働き方を変え、それを支える「パーソナルデバイス」を選ぶ。組織の生産性を向上させ、個人の生活をより良くするために重要なことである。

本レポートでパーソナルデバイスとは「一人ひとりが利用する7インチ以上の画面を備えたコンピュータ」を指す。デスクトップPC（パソコン）、ノートPC、2 in 1 デバイス（ノートPCとタブレットの一体型）、タブレット、専用端末（シンククライアントを含む）を含む。

日経BPIイノベーションICT研究所と日経BPIパーソナルデバイスは2013年8月、IT投資とパーソナルデバイス選択に関する調査を実施した。企業では情報システム部門がデバイスを選ぶことが多いため、対

象は同部門のマネジャーとし、268人から回答を得た。主な結果を2〜4ページに、調査概要を4ページに掲載した。

「働き方を変えるITに期待」

ITを利用したいビジネス課題を尋ねると、上位に「業務のスピードアップ」「業務プロセスの革新」「モバイルワークなど機動性の向上」が入った。

「投資先はパーソナルデバイス」

2013年10月から2014年3月にかけて投資予定があるITの分野を聞くと「PCやタブレットなどパーソナルデバイスの更新や増設」が筆頭に来た。

「現場に応じてデバイスは変わる」

顧客を訪問する営業・サービス担当者の現場および取引先や代理店など「社外」の現場はモバイル利用が多いため、現状では「ノ

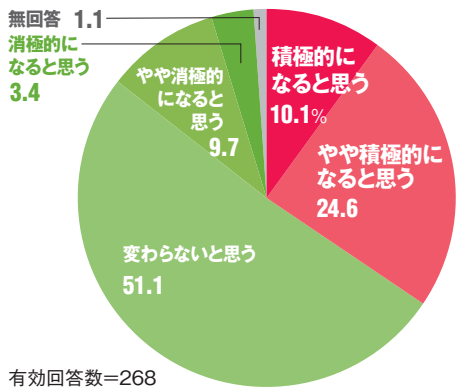
ートPCが中心」とする回答が66・9%に達した。「タブレットが中心」「タブレットとPCが同程度」を合わせると19・1%となった。

「変化はモバイル利用から」

パーソナルデバイスの入れ替え方針を見ると、一般オフィスについては「現状と同じ形態、同じ種類のデバイスの中から価格性能比が高いものを選ぶ」「企業が7割近い。一方、「社外」を見ると「現状と同じ」は48・2%に減り、「B5サイズなど携帯できるノートPCに切り替える」が32・1%となった。「タブレット、専用端末などその他に切り替える」は18・1%。既存ソフトの継続利用や管理体制維持のため、携帯できるノートPCを選ぶ情報システム部門が多い。

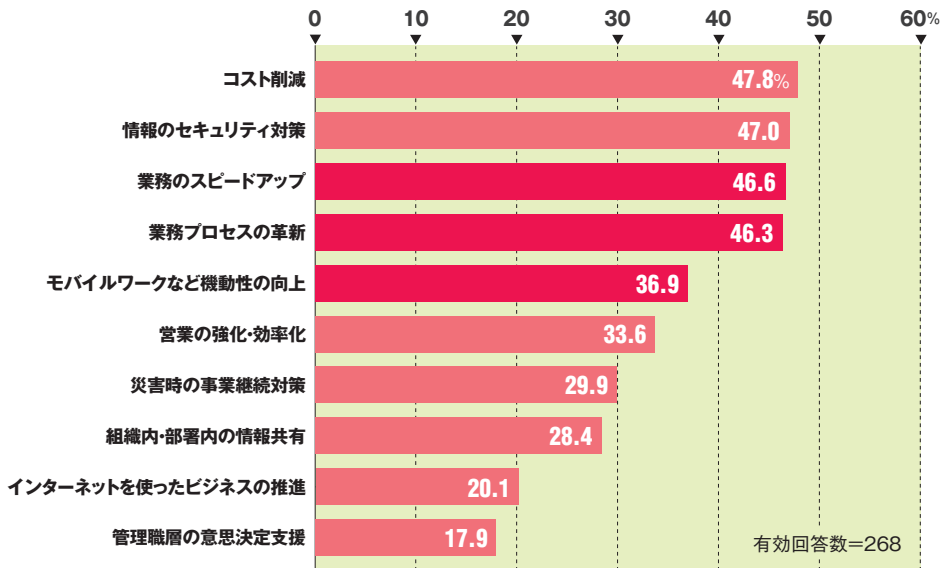
34.7%がIT投資に積極的

2013年度後半（2013年10月～2014年3月）におけるITに対する投資や取組みの動向。2013年度前半との比較



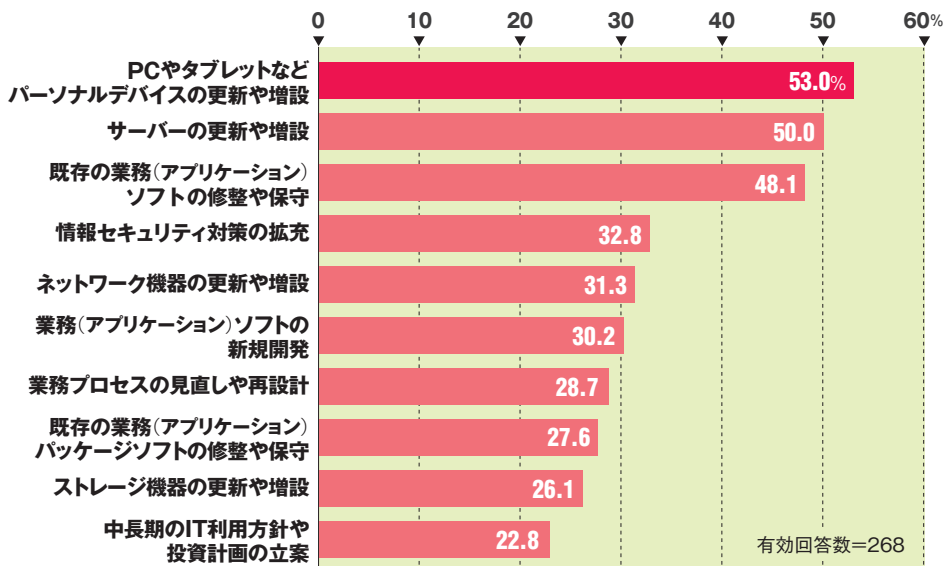
働き方を変えるITに期待

解決にITを利用したいビジネス課題(複数回答、上位10件を掲載)



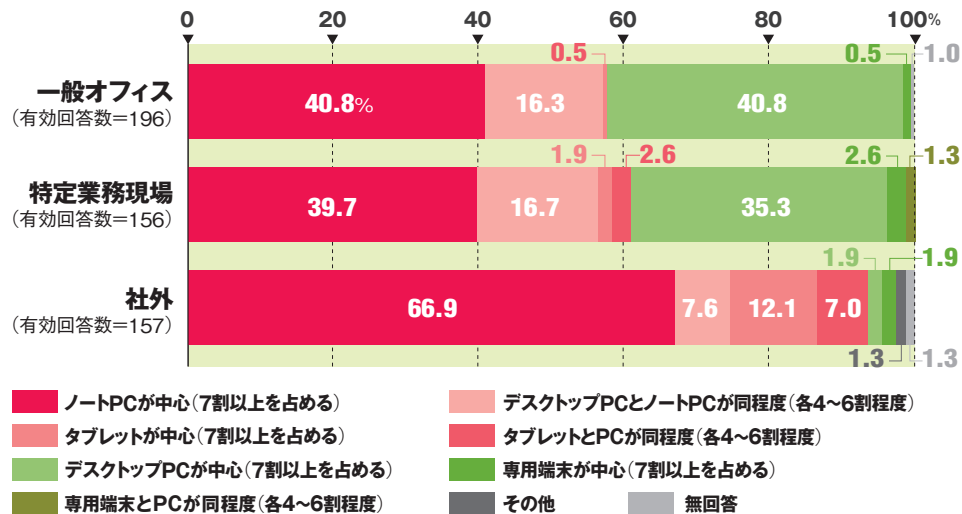
投資先はパーソナルデバイス

2013年度後半(2013年10月~2014年3月)に投資予定があるITの分野
(複数回答、上位10件を掲載)



現場に応じてデバイスは変わる

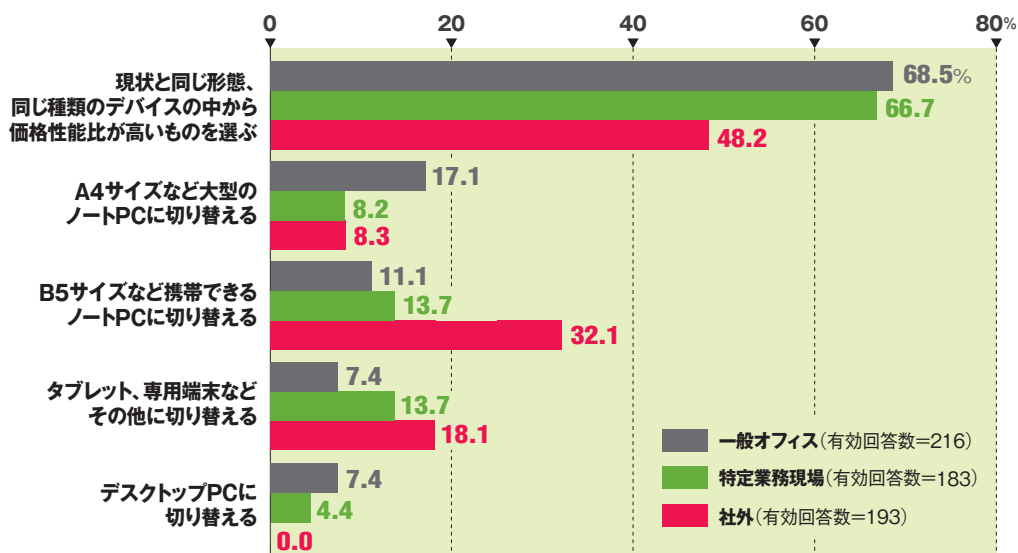
ビジネス現場で使っている主なパーソナルデバイス



特定業務現場：工場・店舗・倉庫・コンタクトセンターなど
社外：顧客を訪問する営業・サービス担当者の現場および取引先や代理店の現場など

変化はモバイル利用から

ビジネス現場におけるパーソナルデバイスの入れ替え方針 (複数回答)



本レポートについて

▼位置付けと目的

クラウドエコノミー研究の一環である調査の結果報告。働き方の変革とICTの活用に着目し、日本のイノベーションの可能性を明らかにする。

▼調査方法と時期

インターネット調査。2013年8月5日～11日まで実施。調査対象は、ITproとPCOnline登録者、日経コンピュータ購読者、日経

▼回答者の属性

有効回答数は268。役職内訳は経営者・役員クラスが1.9%、部長・事業部長クラスが29.9%、課長クラスが

▼プロジェクト担当者

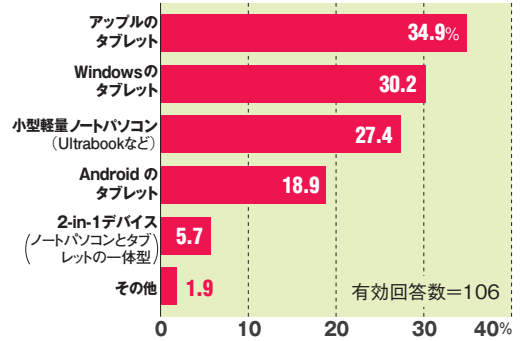
責任者：桔梗原富夫（日経BPIノベーション・ICT研究所所長）
企画・執筆：谷島宣之（日経BPIノベーション・ICT研究所 上席研究員）
調査設計・実施：中村美穂（日経BPIコンサルティングコンサルタント）

▼調査結果の詳細

日経コンピュータ2013年9月19日号に掲載。

Windowsタブレットに注目

モバイル利用を目的として購入予定のデバイス
(購入予定がある企業が回答、複数回答)



ビジネス現場で数年後、利用したい パーソナルデバイスのOS

(実際に現場でデバイスを利用している企業と今は利用していないが今後利用する予定がある企業が回答、複数回答、上位7件を掲載)

